

防災無線や災害時協定の具体化を



佐織地区戸別受信機

やはり戸別受信方式を基本とした整備が必要ではないか。

総務部長

来年度は基本設計と実施設計に取り組みたい。今年度調査する結果を踏まえて、総合的に判断し、固めていきたい。

質問

基本設計をやる段階で、一定の方向性がないことにはやれない。今の段階でしっかりと考えておくべきでは。

総務部長

今年度中にその方針を決めなければいけない。電波調査に入るので、業者が決まった段階でいろいろな角度から、参考資料を取り寄せ最終的に市の方針を固めていきたい。

質問

災害時要支援者の方に対応する施設との協定や、透析などの医療の対応の協定、ボランティア支援センターの立ち上げのための社会福祉協議会との協定など、災害時に必要な協議をすすめては。

また、避難所体験や避難所運営の訓練など、消防署と安全対策課が連携して、考えることが必要では。

福祉部長

民間を含めた福祉施設に協力を要請していきたい。今施設の状態などを調査している。

また、ボランティア支援センターの立ち上げについても今後詰めていきたい。

総務部長

消防署と安全対策課の連携は、他市のメニューなどを考慮し、一層訓練内容の充実を図っていければと考えている。

生活を壊す滞納整理は改善を

質問

西尾張地方税滞納整理機構の対応について、ある方から「一括で払えなければ差し押さえをする。銀行からも住宅ローンを一括で払えと言われる。家の横にも警察が来るし、あなたたちもここにはおれなくなる。車や給料も全部差し押さえになる」と言われたと相談があった。これは違法で、そうしたことが行われること自体が大きな問題だ。

滞納分を払ってもらわなければならぬのは基本だが、生活を壊しては問題。生活再

建を含めて対応してほしい。機構がどういう滞納整理の対応をしているのかつかめ。

副市長

資産がありながら納税がおろそかになっている人について、適切な指導をしつつ納めてもらえるような指導を県税事務所職員の指導を得ながら的確に進めていく。

言葉遣いなどに異常な部分があれば適切に指導するが、毅然とした態度で滞納整理にあたっていきたい。



眞野和久 議員

質問

防災同報無線について、視察に行った浦安市でも、震災時の情報伝達で屋外スピーカーの音が聞こえないという

事を聞いた。これまでも戸別受信方式を採用するよう求め、コミュニティFMやMCA無線の提案も行ってき